

知識確認問題

～XII.安全性の向上を図るための装置を備えるトラックの適切な運転方法～

実施日:令和 年 月 日

氏名: _____

【問題 1】

〈衝突被害軽減ブレーキ〉

レーダー等により先行車との距離を常に検出し、危険な状況にあるかどうかを監視します。追突の危険性が高まったら、まずは音などにより警報し、ドライバーにブレーキ操作を促します。それでもブレーキ操作をせず、追突する若しくは追突の可能性が高いと車両が判断した場合、システムにより（自動的）にブレーキをかけ、衝突時の（速度）を低く抑えるようにします。いかなる場合でも衝突を（回避）できる装置ではないため、運転者は交通状況の把握を常に行う必要があります。

【問題 2】

〈アダプティブ・クルーズ・コントロール/ACC〉

レーダー等で前方を監視し、運転者がセットした車速を維持するとともに、自車両よりも遅い先行車がいる場合には、先行車との車間距離を適正に維持して追従走行します。運転操作が軽減されることや、先行車との車間距離が維持される安心感から、（居眠り）運転や、装置を過信して（前方）不注意となり、事故の要因となる場合があります。

【問題 3】

〈ふらつき注意喚起装置〉

運転者の低覚醒状態や低覚醒状態に起因する挙動を検知し、運転者に注意を喚起するようにします。本装置は、検出できない（環境）や運転（操作）があるため、走行中すべての状況を網羅したモニター装置ではありません。走行中は油断せず、常に運転に集中するようにしましょう。

【問題 4】

〈車線維持支援制御装置〉

カメラで前方の車線を認識し、高速道路の直線路で車線を維持して走行するのに必要なハンドル操作を適切に支援します。本装置は、ハンドル操作力の（軽減）であり、装置単体が車線維持の全てを行うものではなく、運転者が適切にハンドル操作を行う必要があります。

【問題 5】

〈車両安定性制御装置〉

急なハンドル操作や積雪がある路面の走行などを原因とした横転や横滑りの危険を、警報音などにより運転者に知らせるとともに、（エンジン）出力や（ブレーキ）力を制御し、横転や横滑りの危険を軽減させるものです。

出典：自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導及び監督の実施マニュアル（国土交通省）

truck_honpen.pdf (mlit.go.jp)を加工して作成しております。